

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

プレス工業株式会社 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市高須町大山田21050番地1

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業(細分類番号:3113)

2 計画の期間

本計画の期間は、令和 2年度を基準年度とし、令和 3年度から令和 7年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する自 己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	令和2年度 ()	令和7年度 ()	令和3年度 ()	令和4年度 ()	令和5年度 ()	令和6年度 ()	令和7年度 ()	令和7年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	1.34	1.27 5.2	1.20 10.8	1.10 18.0	1.34 -0.3		100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.34	1.27 5.2	1.20 10.8	1.10 18.0	1.34 -0.3		100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.5985	0.5674 5.2	0.5539 7.5	0.5108 14.7	0.5647 5.7		100.0	100.0
実績に対する自 己評価	工場インフラ稼働ロスを最大減抑制し削減に繋げた。							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	15 t-CO ₂ /年	蒸気配管未施工箇所の保温
2	電力量の削減	85.2 t-CO ₂ /年	コンプレッサ老朽更新（150kW INV機導入）
3	電力量の削減	19.6 t-CO ₂ /年	局排ファン効率化、小型化。
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	クリーン電力購入(令和4年より1,800kwh/年)	938 ton-CO ₂ /年
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物排出量削減	原単位当たり1%削減。	・原材料の節約（設計・加工） ・消耗品の寿命延命。 ・廃油排出量の削減。 ・紙の節約。（両面使用）
2	PRTR削減	原単位当たり5%削減。	・塗料色変え回数削減。 ・吐出量の適正化と回送率低減。
3	排水含有物質管理	排水処理規制値遵守	・COD負荷量規制値遵守。 ・全窒素負荷量規制値遵守。 ・全リン負荷量規制値遵守。

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。